

令和4年3月10日

厚生労働省 医政局長 殿

日本循環器学会 代表理事 平田 健一
日本心血管インターベンション治療学会 理事長 伊莉 裕二
日本臨床衛生検査技師会 代表理事会長 宮島 喜文
日本臨床工学技士会 理事長 本間 崇
(公印省略)

要望書

血管造影・画像下治療の介助を臨床工学技士、臨床検査技師のタスク・シフト/シェアが可能な業務の具体例の項目に含める件

令和3年9月30日に厚生労働省医政局長より、各都道府県知事へ発行された文書「現行制度の下で実施可能な範囲におけるタスク・シフト/シェアの推進について」医政発 0930 第16号の中で、現行制度の下で医師から他の医療関係職種へのタスク・シフト/シェアが可能な業務の具体例として、「血管造影・画像下治療の介助」が看護師および診療放射線技師の項目として含まれました。ところが、臨床工学技士および臨床検査技師がその中に含まれておりませんでした。冠動脈領域の血管造影・画像下治療の実態調査を行いました。400施設回答のうち、すでに4割の施設でコメディカルが清潔野の介助を行っており、その内訳は看護師、診療放射線技師のみならず、臨床工学技士、臨床検査技師が行っております（次頁の図参照）。

冠動脈インターベンション（PCI）は、急性筋梗塞の死亡率を約10分の1に低下させる有効な治療ですが、病院到着後90分以内に施行することが求められ、極めて緊急性を要する治療法です。地方においては、医師不足から緊急対応にコメディカルへのタスク・シフトがすでに始まっており、2024年の医師の働き方改革に向けて、さらなる推進が急務です。

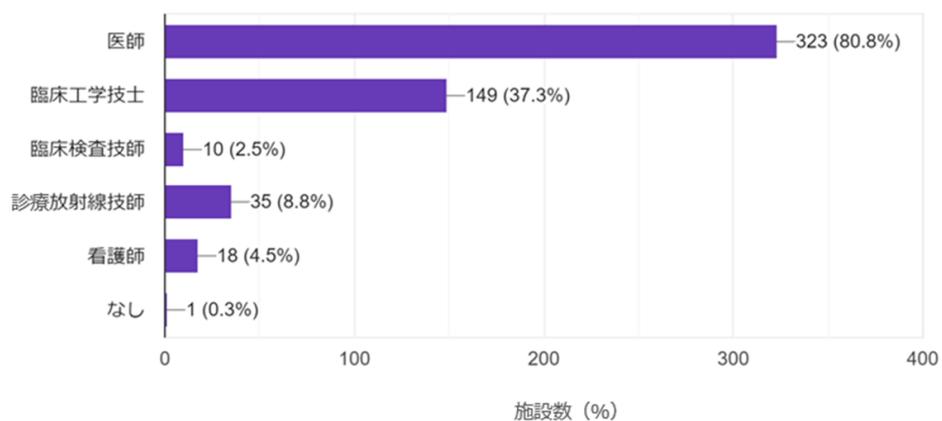
本文書以後、臨床工学技士、臨床検査技師は本業務を行ってはいけないのではないのか？という危惧が生じており、すでにタスク・シフトが進んでいる現場を逆行させる恐れがあります。したがって、臨床工学技士と臨床検査技師においても血管造影・画像下治療の介助に関するタスク・シフトを推進する件を、含めていただけるよう要望します。

(図)

日本心血管インターベンション治療学会が行った実態調査（2021年9月）400施設からの回答

冠動脈インターベンション（PCI）の清潔野の助手は、どの職種が行っていますか？

400施設から回答があり、職種別に施設数（%）を示す



解説：主術者である医師に加えて、清潔野の助手を臨床工学士が務める場合のある施設が37.3%におよぶことを示している。臨床検査技師・診療放射線技師・看護師が助手を務める施設があることもわかる。

以上